



# 「令和2年(2020年)木材需給表」の公表について ～木材自給率は48年ぶりに40%台に回復～

林野庁は9月30日に、我が国の木材需給の状況を明らかにする「令和2年(2020年)木材需給表」を公表しました。

令和2年(2020年)の木材の総需要量は、7,444万㎡(丸太換算。以下同じ。)で前年に比べ9.1%減少しました。総需要量は昨年に引き続き減少しました。

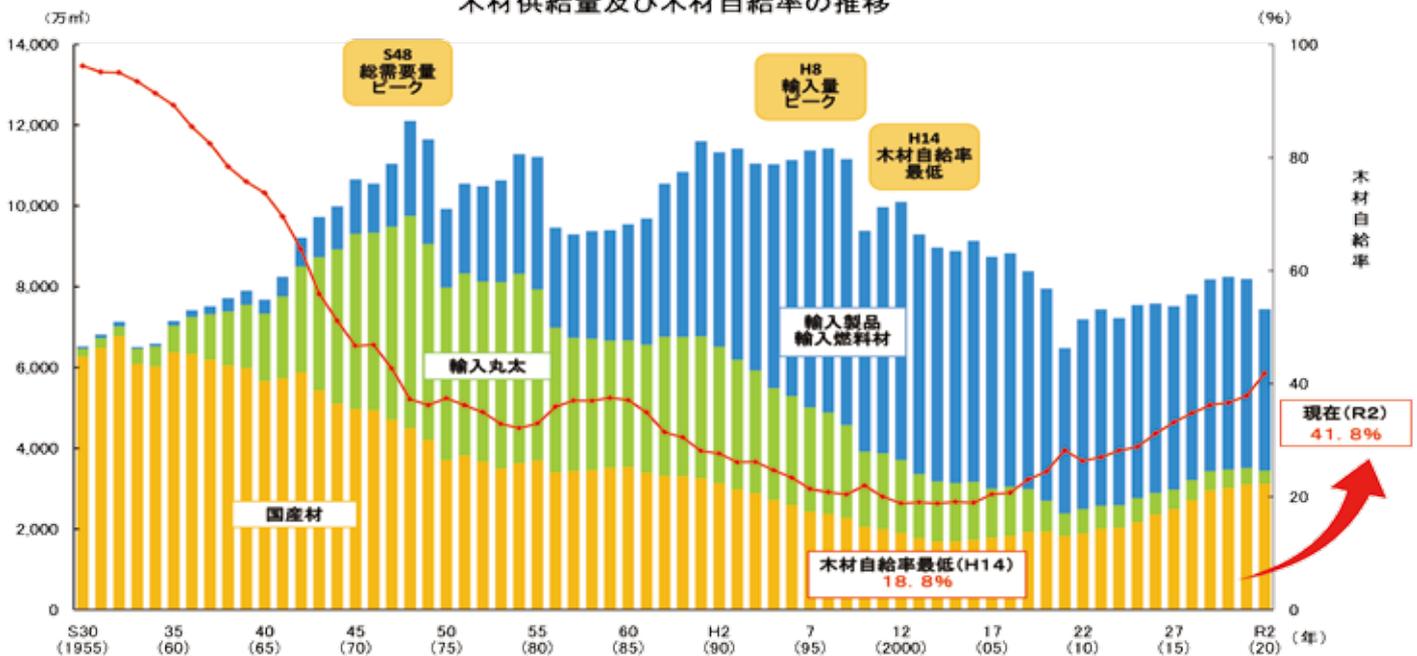
国内生産量は3,115万㎡で前年に比べ0.5%増加し、平成22年から11年連続で増加しました。輸入量は4,329万㎡で前年に比べ15.0%減少しました。

令和2年(2020年)の製材、合板等の用材の自給率は前年から2.4ポイント上昇して35.8%となり、用材にしいたけ原木及び燃料材を加えた総量の自給率は、前年から4.0ポイント上昇して41.8%となりました。用材、総量ともに自給率は、平成23年から10年連続で上昇しました。

より詳しい「木材需給表」の内容は下記のURLから御覧になれます。  
[http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai\\_zyukyu/index.html](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai_zyukyu/index.html)



木材供給量及び木材自給率の推移



令和2年 需要(供給)量

(単位:万㎡)

用途	供給源	国産材	輸入丸太	輸入製品	合計	比率
製材用材		1,161.5	286.1	1,012.1	2,459.7	33.2%
合板用材		419.5	43.1	429.3	891.9	12.0%
パルプ・チップ用材		442.0	0.1	2,164.3	2,606.4	35.1%
その他用材		175.0	1.3	4.9	181.2	2.4%
燃料材		892.7	0.0	387.8	1,280.5	17.3%
合計		3,090.7	330.6	3,998.4	7,419.7	100.0%
しいたけ原木		24.2			24.2	
総計		3,114.9	330.6	3,998.4	7,443.9	

令和2年 木材需給の構成

